

**令和 4 年度**  
**生物多様性に関する企業意識アンケート**  
**報告書**

(環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 実施)

～実施概要～

調査目的	生物多様性保全の取組を推進するための基本指針である「生物多様性さっぽろビジョン」に基づく施策をより効果的に推進するため、事業者の生物多様性に係る意識やニーズを的確に把握する。
調査時期	令和 5 年 1 月 20 日 (金) ～2 月 17 日 (金)
調査方法	ホームページ上に回答用紙、回答フォームを掲載
調査対象	札幌市内全事業者
周知方法	・札幌商工会議所メールマガジン：約 5,000 件 ・さっぽろ産業ポータル ((財) さっぽろ産業振興財団)：約 1,700 件 ・環境中間支援会議・北海道の連携組織の HP・メールマガジン ・北海道グリーン購入ネットワークメーリングリスト：約 90 団体 ・さっぽろエコメンバー事業者等郵送による周知：1,942 事業者
回収数	478 件 (郵送：14 件、FAX：74 件、メール：1 件、持参：1 件、WEB：388 件)

～目次～

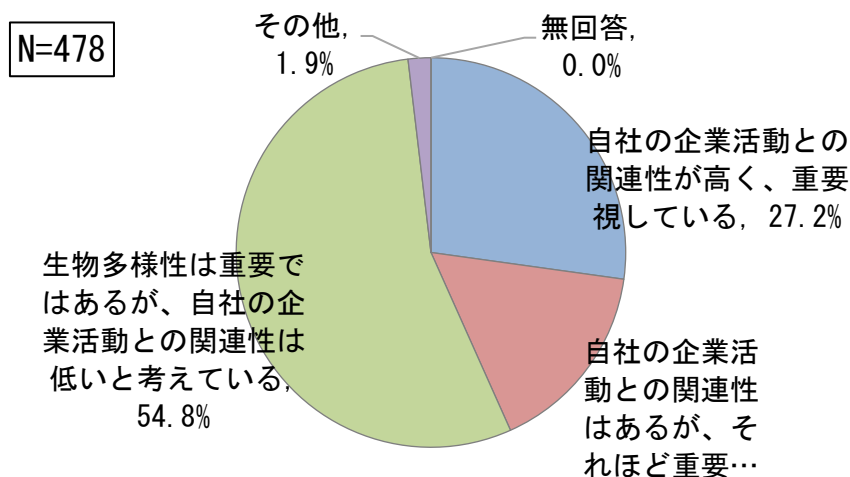
- ・生物多様性と企業活動のあり方に関する意識・・・・・・・・・・ P 2
- ・生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合・・・・・・・・ P 3
- ・生物多様性保全の取組の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- ・生物多様性保全と費用の関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- ・これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組・・・ P 9
- ・他者が行う生物多様性保全の取組の中で関心のあるもの・・・ P 10
- ・生物多様性保全の取組に必要な支援・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11

**令和 5 年 4 月**  
**札幌市環境局**

## (1) 生物多様性と企業活動のあり方に関する意識

【問1】貴組織では、生物多様性の保全への取組と企業活動のあり方についてどう思われますか。1つ選んで下さい。

生物多様性の保全への取組と企業活動のあり方について、「自社の企業活動との関連性が高く、重要視している」は 27.2%

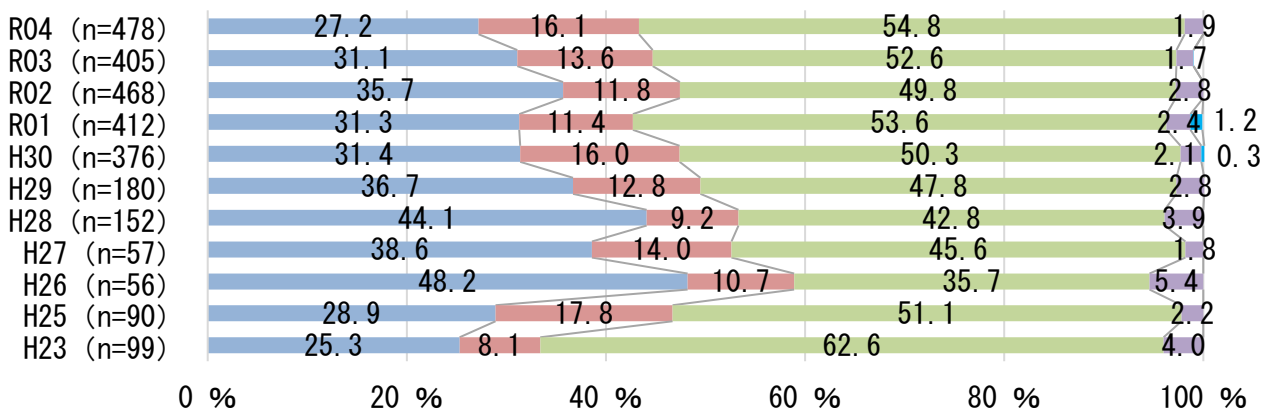


### ○その他の記載内容

- ・自社で定山溪に土地を購入し、森づくりを毎年実施しているが、社員に意図の説明もなく勿体無いと思う。
- ・本学の教育活動と関連性があり、今後重要視していく予定である。

### ○過去のアンケート結果との比較

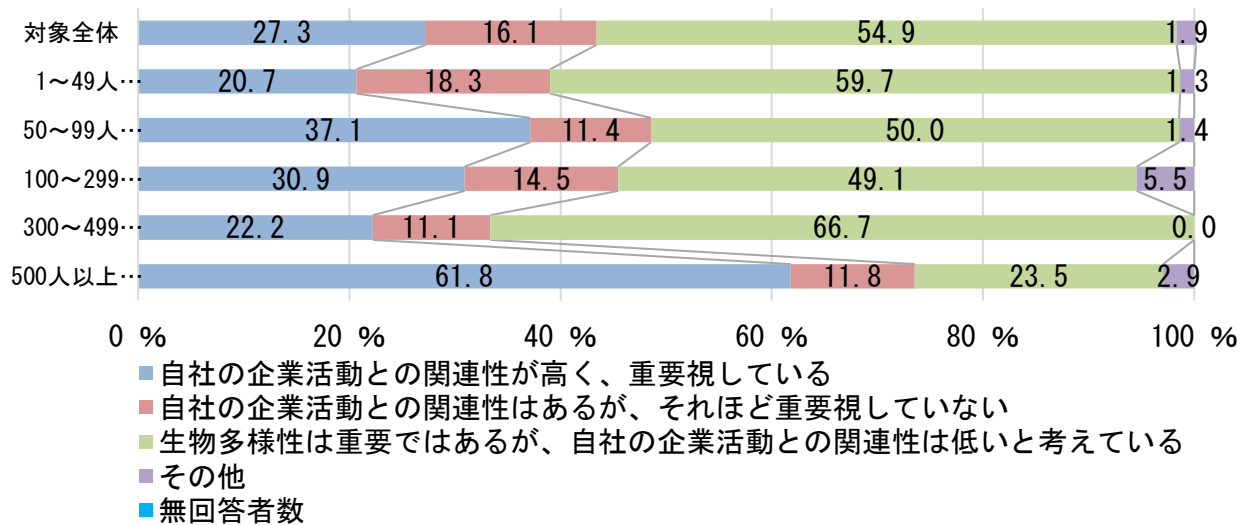
「自社の企業活動との関連性が高く、重要視している」の割合は 27.2%と、令和3年度から 3.9ポイント減少した。



- 自社の企業活動との関連性が高く、重要視している
- 自社の企業活動との関連性はあるが、それほど重要視していない
- 生物多様性は重要ではあるが、自社の企業活動との関連性は低いと考えている
- その他
- 無回答者数

### ○従業員数別の結果

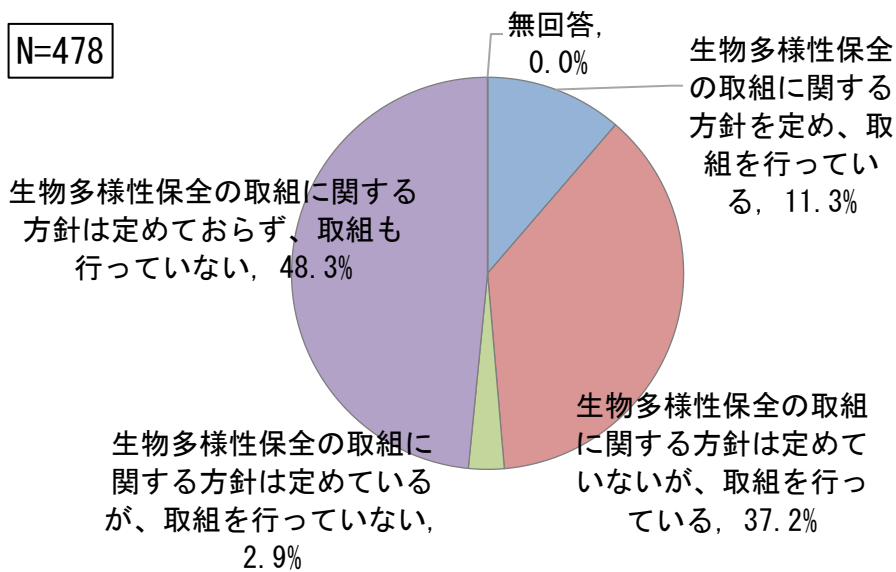
「関連性が高く、重要視している」の割合が最も高かったのは従業員数 500 人以上の企業だった。また、従業員数が 1～49 人、300～499 人の企業で、「関連性が高く、重要視している」の割合が低く、「関連性は低い」の割合が高かった。



### (2) 生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合

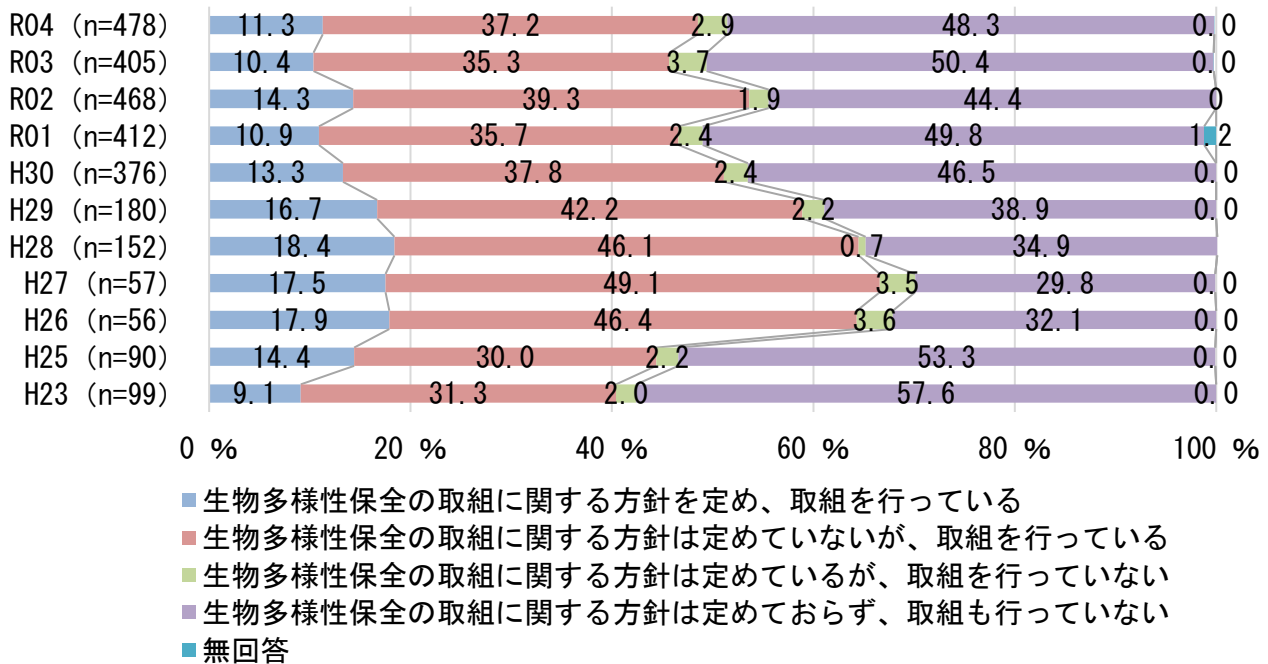
【問 2-1】貴組織では、環境に対する経営方針あるいは事業活動の中で、生物多様性の保全への取組について、どのように位置付け、取り組んでいますか。1つ選んで下さい。

生物多様性の保全への取組について、「方針を定め、取組を行っている」 + 「方針は定めていないが、取組を行っている」は 48.5%



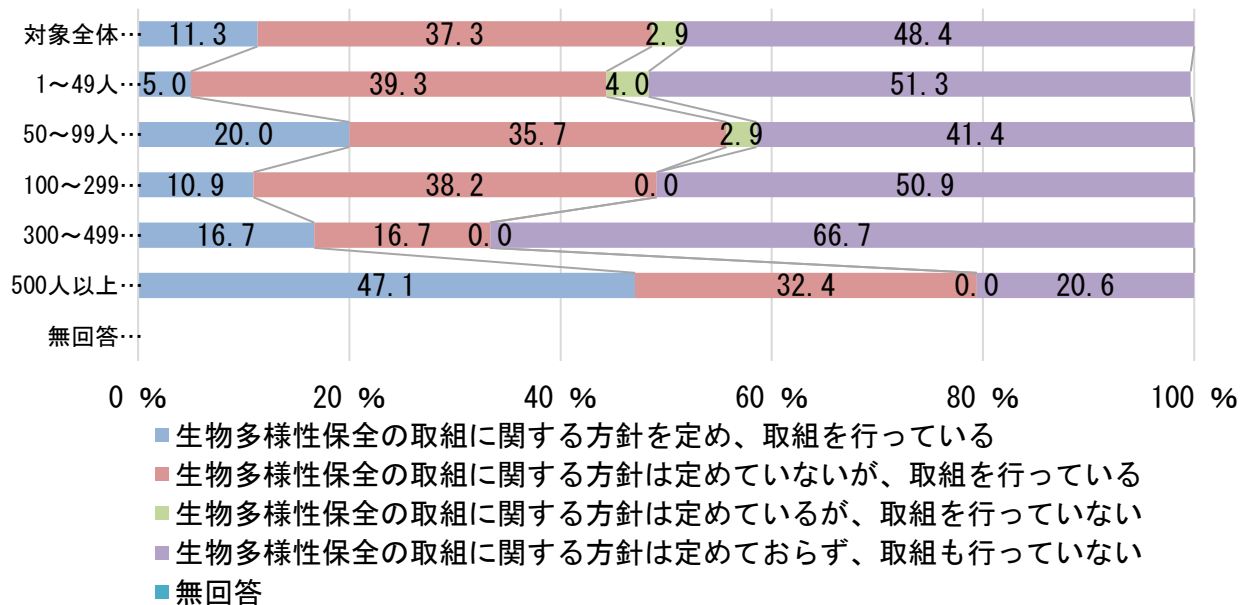
### ○過去のアンケート結果との比較

取組を行っている企業の割合は、令和3年度から2.8ポイント増加した。



### ○従業員数別の結果

取組を行っている企業の割合が最も高かったのは従業員数 500 人以上の企業だった。また、取組を行っている企業の割合が最も低かったのは従業員数が 300～499 人の企業で、33.4%であった。



### (3) 生物多様性保全の取組の内容

【問 2-2】問 2-1 で①（方針を定め、取組を行っている）、②（方針は定めていないが、取組を行っている）と回答された方にお伺いします。生物多様性の保全への取組として、貴組織が行っているものをすべて選んで下さい。

生物多様性の保全への取組として、「本来業務における生物多様性への配慮」が 76.7%、 「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」が 57.8%
--

#### ○その他の記載内容

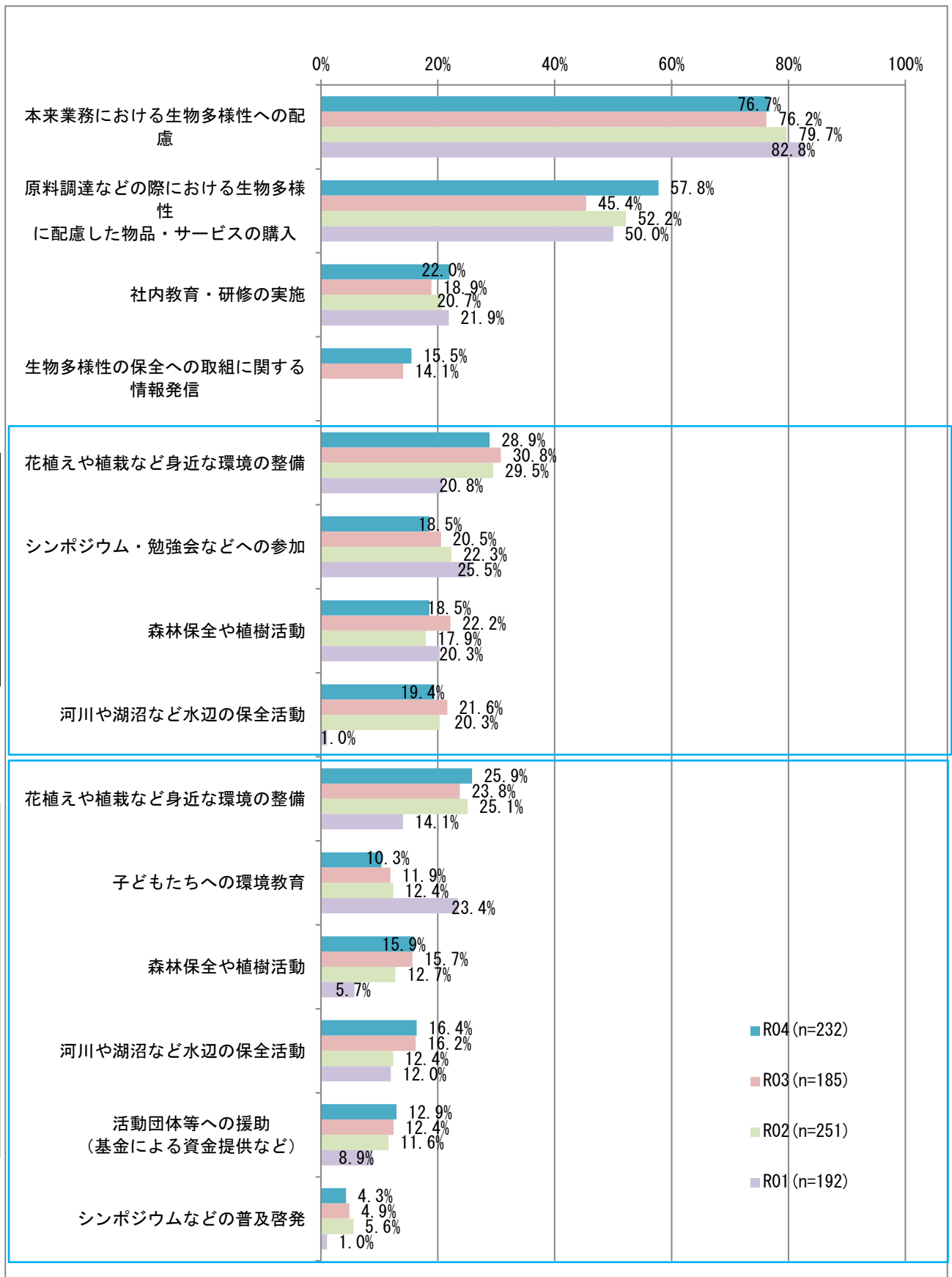
- ・イベントによる啓発

#### ○過去のアンケート結果との比較

「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」は、57.8%と、令和 3 年度から 12.4 ポイント増加した。

「他者が行う生物多様性保全活動への参加」はどの項目も令和 3 年度より減少傾向であった。

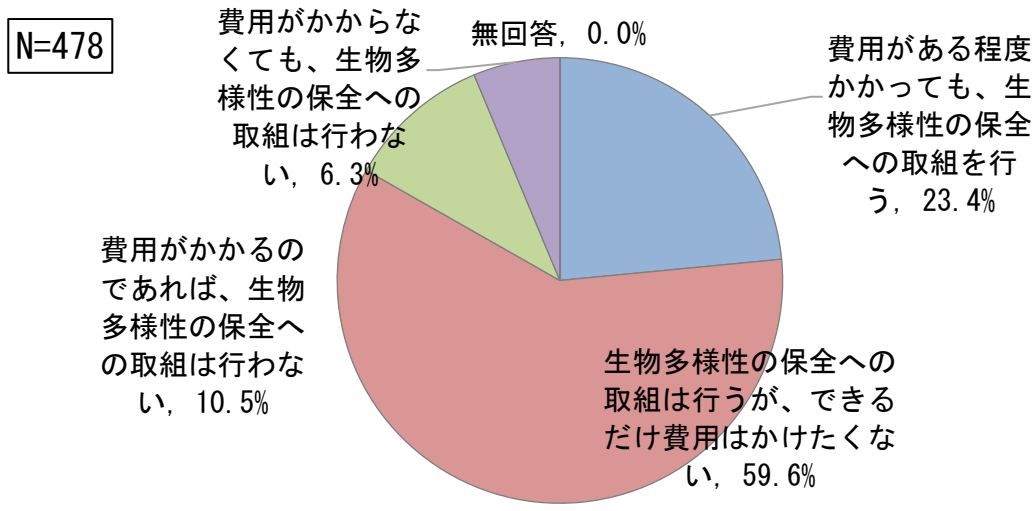
昨年度より回答の選択肢に加えた「生物多様性の保全への取組に関する情報発信」については、15.5%と昨年度よりやや増加した。



#### (4) 生物多様性保全と費用の関係

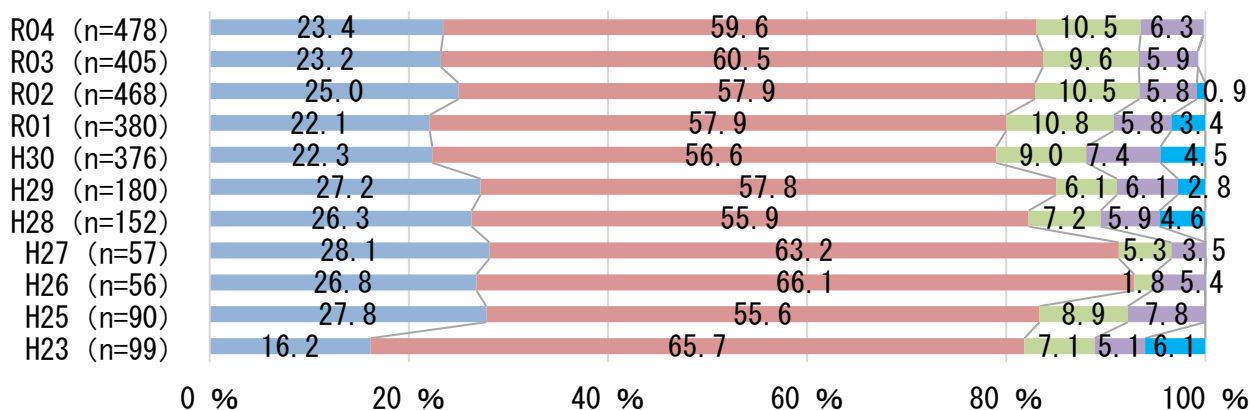
【問 3】生物多様性の保全への取組を実施する際の貴組織の考え方として、当てはまるものを選んでください。

生物多様性の保全への取組を実施する際の考え方として、「生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない」が 59.6%



#### ○過去のアンケート結果との比較

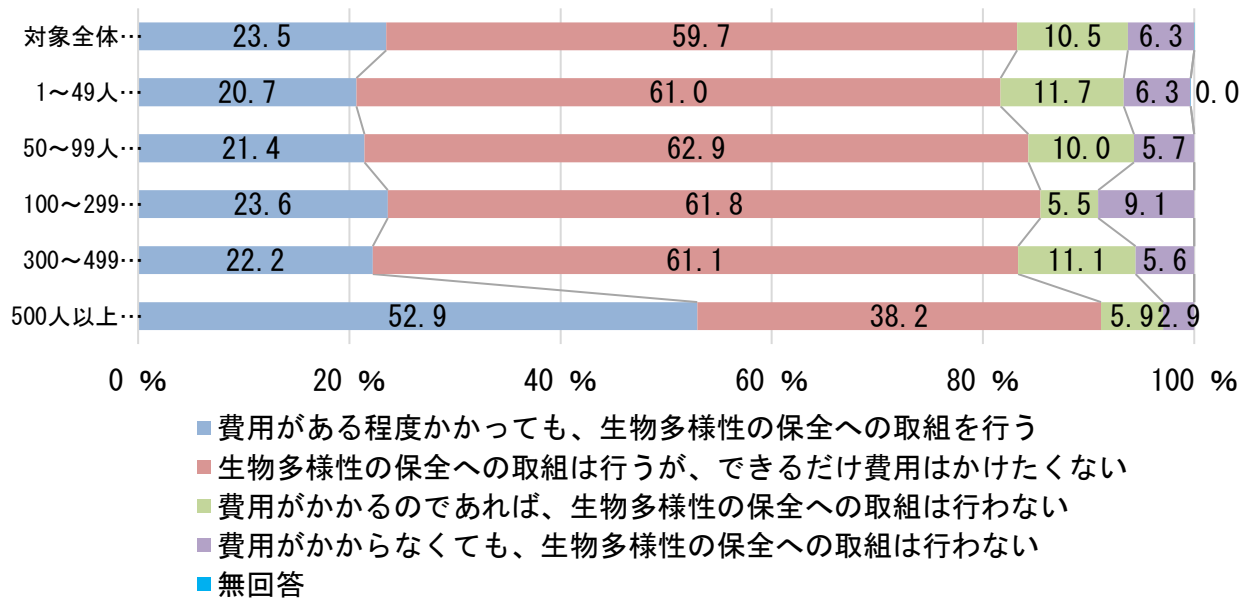
生物多様性の保全への取組を行う意思のある企業（「費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う」＋「生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない」）の割合は、4年連続 80%以上と高い割合で推移している。



- 費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う
- 生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない
- 費用がかかるのであれば、生物多様性の保全への取組は行わない
- 費用がかからなくても、生物多様性の保全への取組は行わない
- 無回答

○従業員数別の結果

全ての区分において 80%以上が「生物多様性保全の取組を行う」と回答した。従業員数 500 人以上の企業において「費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う」の割合が 52.9%と最も高かった。





## (5) これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組

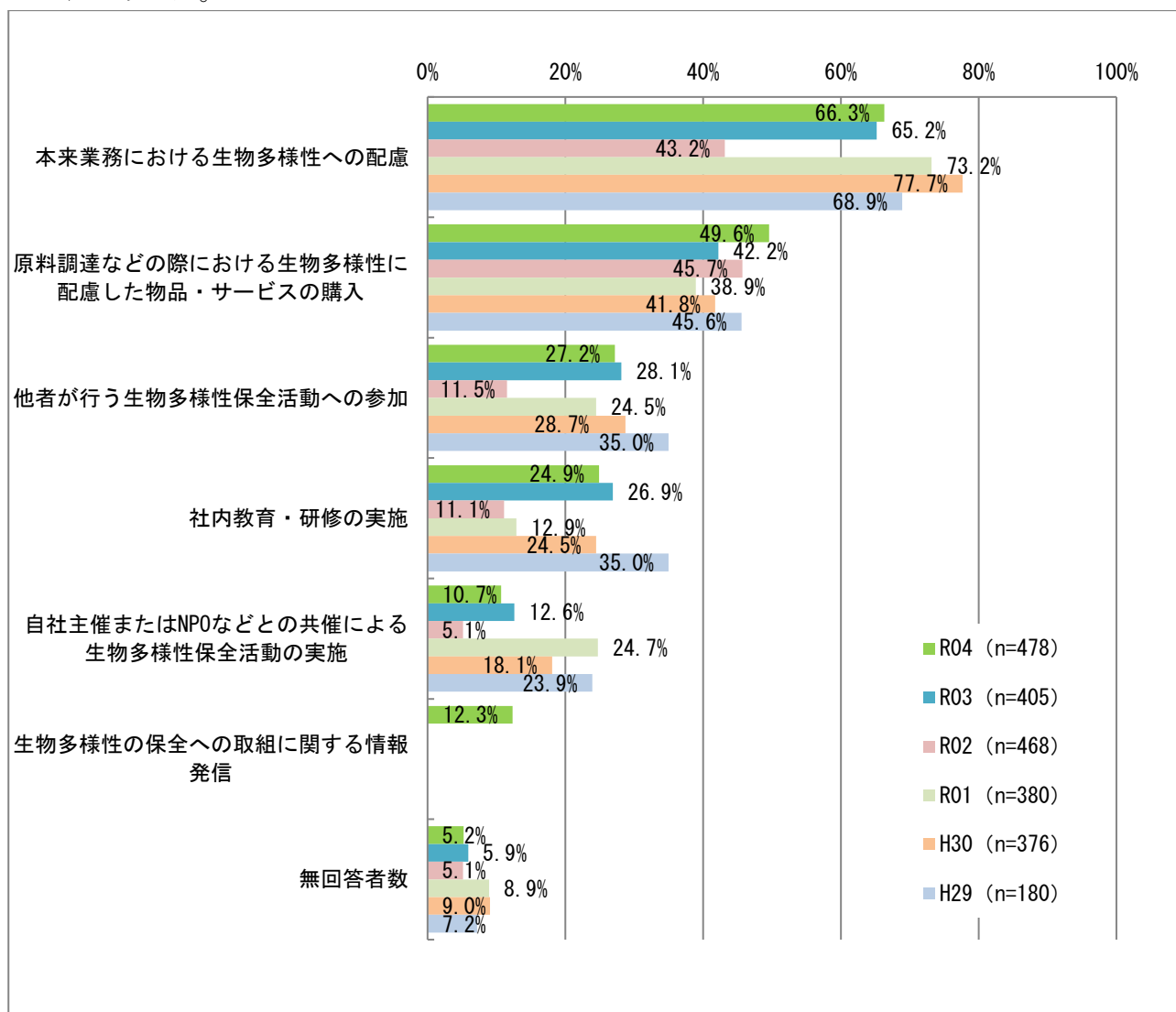
【問 4-1】生物多様性の保全への取組として、貴組織がこれから行いたいと考えているものをすべて選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

これから実施したいと考えている生物多様性の保全への取組として、「本来業務における生物多様性への配慮」が 66.3%

### ○これまでのアンケート結果との比較

「本来業務における生物多様性への配慮」、「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」は令和3年度から増加し、「他者が行う生物多様性保全活動への参加」、「社内教育・研修の実施」、「自社主催またはNPOなどとの共催による生物多様性保全活動の実施」は令和3年度より減少した。

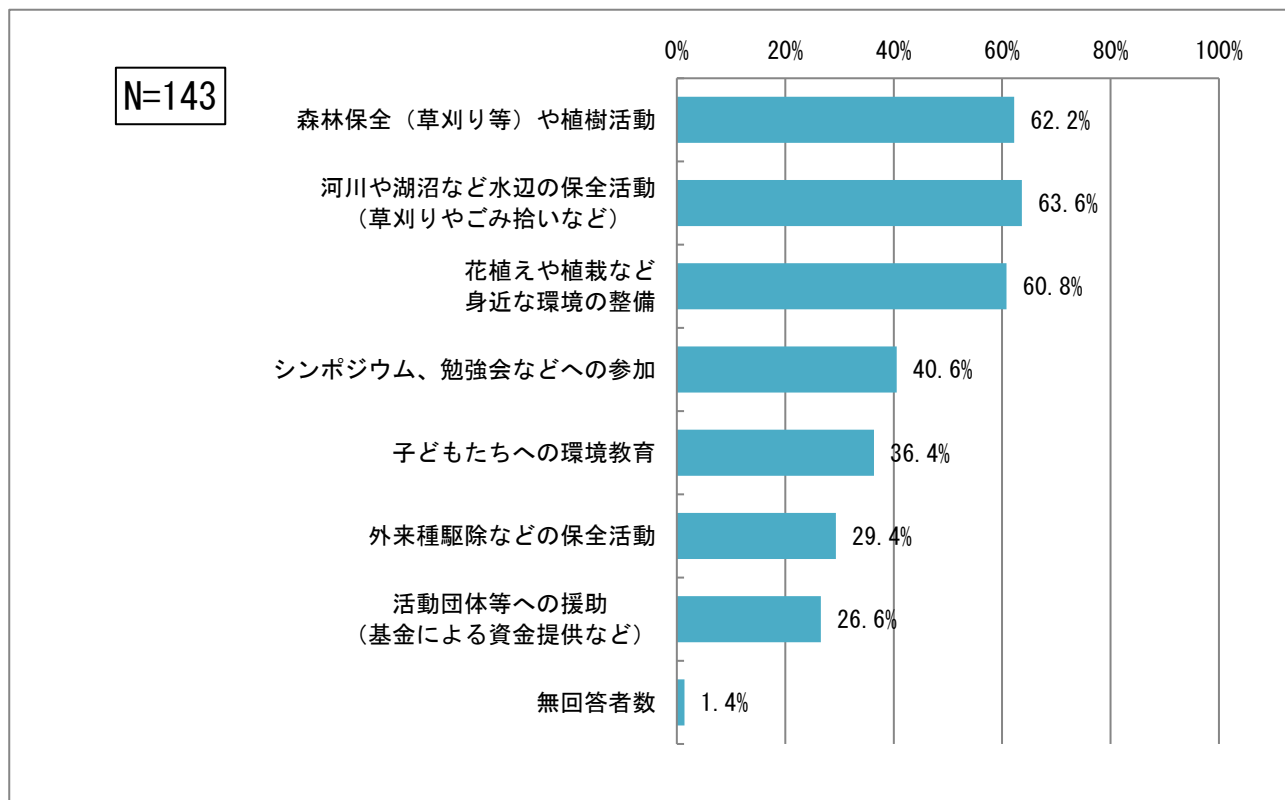
今年度より回答の選択肢に加えた「生物多様性の保全への取組に関する情報発信」は、12.3%であった。



(6) 他者が行う生物多様性保全の取組の中で関心のあるもの

【問 4-2】問 4-1 で③（他者が行う生物多様性保全活動への参加）、④（自社主催またはNPOなどとの共催による生物多様性保全活動の実施）と回答された方にお伺いします。貴組織が関心を持っている他者（活動団体等）が行う生物多様性保全活動の取組をすべて選んで下さい。

関心を持っている他者（活動団体等）が行う生物多様性保全活動の取組として、「森林保全（草刈り等）や植樹活動」が 62.2%



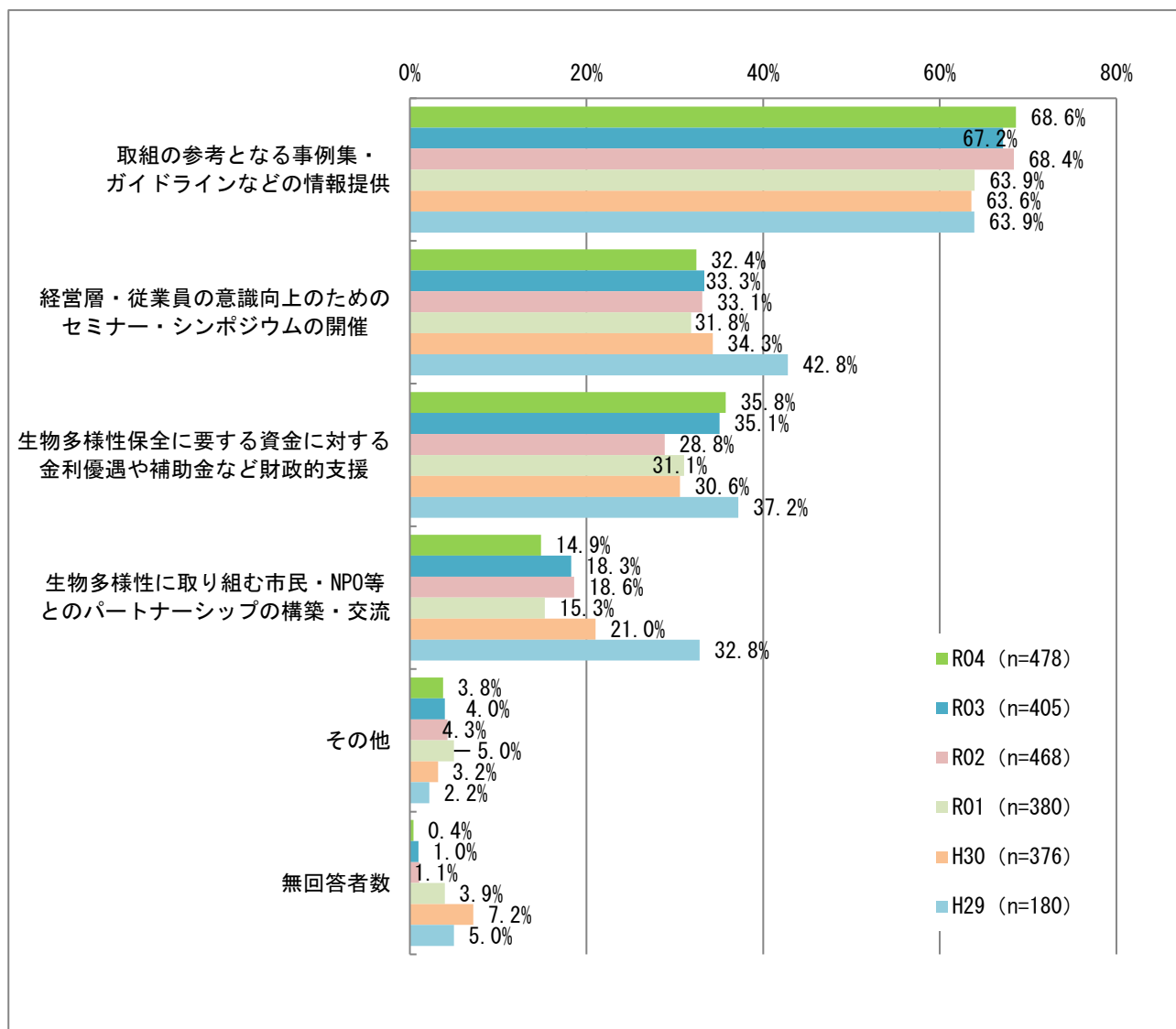
## (7) 生物多様性保全の取組に必要な支援

【問5】今後、貴組織が生物多様性の保全への取組を進めていくための支援として、何が重要だと考えますか。当てはまるものすべてを選んで下さい。

生物多様性の保全への取組に必要な支援として、「取組の参考となる事例集・ガイドラインなどの情報提供」が68.6%

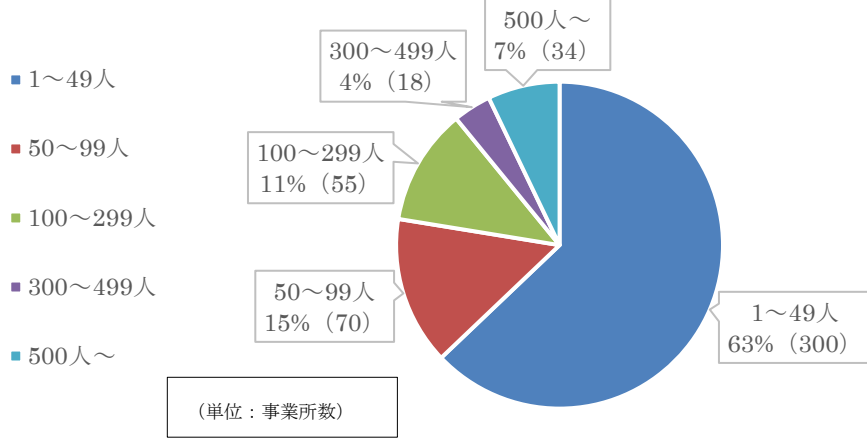
### ○過去のアンケート結果との比較

概ね前年度と同じ水準である。

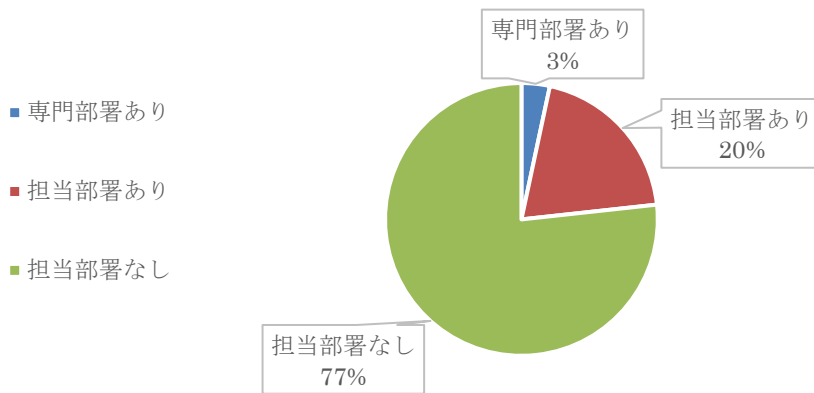


## (8) 回答企業について

### 従業員数 (N=478)



### 担当部署の有無 (N=478)



### 業態 (N=478、複数回答あり)

